

シティプロモーション推進課
職員が行く！

湖東焼づくり 体験レポート

手びねり体験でマグカップを作りました！

粘土をくるくると伸ばして重ねていきます

まっすぐ高さをつけるのが難しいっ！

最後に、たくさんある色見本の中から好きな色を選びます

完成！

約1ヶ月後に、完成品をもらえます

陶芸体験について詳しくは、再興湖東焼一志郎窯（☎24-6711）へお問い合わせください。



よみがえ 蘇れ！湖東焼



再興湖東焼作家
中川 一志郎さん

再興湖東焼作家。長年にわたり湖東焼の作風や技法について研究を重ね、染付や赤絵など多彩な陶芸技法を駆使して制作を行う。その作品は滋賀県伝統工芸品に指定されている。



▲城西小学校6年生を対象に行った作陶と絵付、焼成体験の様子



NPO法人 湖東焼を育てる会と再興湖東焼

黄金期の最中に幕を閉じた湖東焼を復興しようと、昭和58年、地元の湖東焼愛好家を中心に「湖東焼復興推進協議会」が発足しました。その3年後、信楽の陶芸作家・中川一志郎さんが招かれ、彦根の地で再興湖東焼の制作が始まったのです。

平成17年、新たに「NPO法人湖東焼を育てる会」が設立され、湖東焼の講演会や展示会、絵付や作陶の体験教室など、多様な事業を通じて普及啓発に努めています。

Interview

信楽の窯元出身の中川さんが、湖東焼に出会ったきっかけは？

信楽焼は、湖東焼とは全然違うんですよ。信楽焼は陶器ですが、湖東焼は磁器もあれば陶器もあります。僕はもともと絵付をしていて京都でその勉強をしていました。その頃、彦根出身の祖母に、「彦根に湖東焼あるし、やったらどうや」と言われました。それが湖東焼を知ったきっかけです。

再興湖東焼に取り組みることになった経緯を教えてください。

昭和54年に彦根駅前で、湖東焼の名品を一堂に会した展示会が開かれた時に初めて湖東焼を見て、すごいなこれは、と思いました。当時、絵付の仕事をしていたので、技術に対する見方はありました。湖東焼では、現代の技術ではできないくらいのもので、手描きで描いていたんです。本当にすごいやきものですが、現在、湖東焼を作っている人が誰もいない。だから湖東焼に挑戦したいと思い、信楽で湖東焼の作品を作っていたところ、滋賀大学の小倉栄一郎先生はじめ、湖東焼の愛好家の方々に彦根に呼んでいただくことになったんです。

彦根で制作する中で、どのような思いをお持ちですか。

彦根に来たときから思っていることは、彦根の人があまりにも湖東焼を知らないということ。彦根城は国宝ですからもちろん自慢できるんですよ。でも湖東焼も、やきもの文化のなかで日本全国に自慢してもいいものなんです。



中川さんにとって湖東焼の再興とはどんなことでしょうか。

湖東焼って、それが湖東焼かと聞かれても説明しにくいんです。一番説明しやすい言い方だと、「青味を帯びた生地に繊細な絵付」が特徴ですね。

伊万里や平戸など、湖東焼と同じ原料・技法で作っている窯が全国にあります。それと湖東焼との比較をして、何が違うかはなかなか説明できないんですよ。このやきものかわからないという湖東焼もあれば、これぞ湖東焼という作品もある。だから私がやりたいことは、これぞ湖東焼というものを目標に、今の、令和の湖東焼としての作品を作ることです。



再興湖東焼 一志郎窯
ギャラリー&茶房 みごと庵

住 芹橋二丁目（旧足軽屋敷善利組林家住宅）

☎24-6711

彦根城博物館 特別展情報

幻の名窯 湖東焼 - 彦根藩窯の盛衰 -

令和2年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

【展示会期】 10月23日(金)～11月23日(月・祝) / 【会場】 彦根城博物館

江戸時代、彦根で産声をあげた湖東焼。その多彩な作品を紹介し、あわせて、湖東焼に影響を与えた各地のやきものをともに展示することで、湖東焼の特質に迫り、その全貌を明らかにしようとする初めての展覧会です。

展示解説

展示の担当学芸員が、代表的な展示作品の図版をお見せしながら、その魅力を分かりやすく解説します。



彦根城博物館学芸員
奥田 晶子

🕒 10月24日(土)
14:00～(40分程度)
📍 彦根城博物館講堂
👤 25人(当日先着順)
💰 無料

ワークショップ 絵付け体験！ ～オリジナルの器を作ろう～

NPO法人湖東焼を育てる会 共催事業

🕒 11月14日(土)13:00～15:30
講師 中川 一志郎さん 📍 彦根城博物館講堂
👤 25人(応募多数の場合は抽選)
💰 1,500円(作品送料別)
📅 10月1日(休)～同30日(金)(当日消印有効)
▶往復はがき：往復はがき往信の裏面に①住所②氏名③電話番号を、復信の宛名面に①住所②氏名をご記入の上、〒522-0061 金亀町1-1「特別展ワークショップ」係まで(1人1通)。
▶彦根城博物館ホームページ